

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 1月 26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	46994400021
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	ひだまりの家 こもれび
所在地	伊佐市菱刈徳辺1656 (電話) 0995-261138
自己評価作成日	平成26年1月9日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの利用者の個性を大事にし、無理強いや強制等をする事なく、一日一日を大切に、スタッフ間で意見を出し合い、情報を共有しながら、一緒に生活をするという意識を持ち、周囲の方々とも日々の生活の中でお互いに声を掛け合い、地域とともに生活していく。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市の郊外、のどかな田園風景の広がる閑静な地に立地して広い敷地にはデイサービスと有料老人ホームが併設されている。代表者・管理者は地域と密着した運営を目指し、開設に伴って地域の理解を得られる努力を行い、現在では広い中庭を利用して地域の方々と共に餅つきやバーベキュー会、秋刀魚パーティなどさまざまな催し物が行われ、毎回多数の地域住民が訪れるなど良好な関係が築かれている。また、高齢化の進んだ当地域から「支援センター」の看板も頂くなどの信頼も得られている。今年度は地域と合同で運動会も開催し、本格的な取り組みに地域住民もおおいに盛り上がり地域の活性化にも一役かうなど、市からも地域密着型サービスにおいて評価を得ている。人材確保についても職員が少なくなる朝夕の時間帯に近隣の有償ボランティアの協力があり、安全対策の見守りなどで多に活躍してもらい、夜勤帯の職員の不安軽減に繋がっている。毎月、行事や外出レクリエーションを瀬回りに設けて地域の方々や家族と共に楽しめる内容の企画も多く、毎回多数の参加が得られている。また、家族との絆を途切れさせないように外出や病院受診、外泊など家族の支援も介護計画に入れて共に利用者を支えている。職員間のコミュニケーションも図られ、働きやすい環境で離職が少ない職場となっている。利用者の表情も明るく穏やかでこたつを囲んでおしゃべりや手芸に興じている様子はまるで大家族のようである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	振り返りを行いながら実践につなげている。	事業所の役割を理解しながら職員に分かりやすく浸透しやすい理念を作成している。朝礼時やミーティング時に振り返る機会を設け、理念に沿ったケアの実践に繋げている。また、理念とは別に職員の意見を集約した目標も設定して質の向上に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お互いの行事参加や会等の出席運動を行い交流を図った。	開設時より地域とは良好な関係が築かれており、高齢化の進んだ当地域から「支援センター」の看板を頂いて近隣の独居高齢者の見守りなども行っている。また、ホームの行事にも毎回多数の方々が訪れるなど地域も共に楽しめる内容となっている。今年度は地域と合同で運動会も開催して地域住民と多いに盛り上がり、市役所からも地域密着型サービスにおいて評価も得られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	高齢者クラブへの会合への出席や相等を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	アドバイス等や意見交換等の内容も必要に応じて伝達し検討している。	集落代表・民生委員・家族・行政・職員等幅広い参加者により2カ月に1回開催している。ホームの現状報告、行事や看取りについて、行政からの情報、地域の高齢者についての話し合いなど毎回充実した内容の会議が行われている。ときには、家族中心の会議も設けるなどして全家族に運営推進会議が浸透している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議、地域密着連絡会などを利用し連携を取らせていただいている。	運営推進会議に毎回行政の参加があり、ホームの実情を伝えている。また、日頃より連携を図りながら協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会の中での振り返りや、方針としての伝達を含め禁止として周知徹底している。	利用契約書に家族にも分かりやすい内容で明記しており、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。日常の業務の中でも拘束にあたる行為を職員全員でその都度考えるようにして禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるように徹底している。他にも定期的な勉強会や「虐待の芽チェックリスト」により職員全員で振り返る機会もある。日中は施錠などせずに職員の見守りと連携で玄関やテラスから自由に出入りできる環境となっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	チェックシートを用いて検討、振り返りをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状での活用は無い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者の入れ替わりは無く契約等も無い。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とは日々の会話を大切に、家族ともいろいろな機会を利用しコミュニケーションを取っている。</p>	<p>日常の来訪時や電話連絡時、家族交流会やホームの催し物の際に意見・要望を聞き出すように努めている。また、第三者委員も設置して外部者へ表せる機会も設けている。重要事項説明書に「管理者・担当者が不在であっても他の職員誰でも対応できるようにしている」と明記されており「家族関係」ノートの記録により職員間の情報の共有が徹底されている。出された意見・要望については職員間で話し合っ改善に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>必要に応じ聞き取り幹部会で検討、反映している。</p>	<p>毎朝の朝礼時や毎月の全員参加のミーティングで職員の意見・提案を引き出すようにしている。また、利用者の現状確認や必要に応じた勉強会も取り入れている。出された意見・提案については可能な限り反映できるように検討している。働きながら学ぶ環境も整えて資格取得の支援も行っている</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>利用者のため、そして事業所のために頑張る人と、ただ仕事に来ている人とは、給料及び賞与等で差をつける必要がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内及び施設外の研修には、積極的に参加してもらうため、交通費の支給、勤務の優遇等を行っている。資格取得も積極的に勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は、いい結果は出ない、と考えている。施設の自慢や批判さらに職員の批判そして利用者のお話までおよぶ。まだ、講習会や研修会への参加の方がいい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>日々の生活の中で状況を把握し関係づくりを続けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談や入所前の時点から面談し、お互いに意見が言える関係づくりをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談の段階で、内容を聞きわけて助言し、解決の手助けができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者レベルの変化等で介助の部分が多くなってもいるが、共同生活を振り返りながら生活している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携をとり、より多くのコミュニケーションを取るように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	それぞれに応じて関係が保てるように、可能な限り連絡や調整をし支援している。	お墓参りや日用品の買い物などこれまでの生活の継続として支援している。携帯を所有している利用者もあり、気軽に友人知人と連絡を取り合っている。また、定期的に帰宅して自宅で知人との時間を過ごしたり、お正月には自宅に泊まるなど家族の協力をもらいながら関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	2年が過ぎる中で、利用者間それぞれに気の合う合わないもあるが職員が間に入り、関係づくりをしてる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在までには例がないが、考え方としては持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	いろいろな場面で、その度に聴き確認しながら、提案する場合も意思確認しながら把握に努めている。	リビングの座る場所、衣類の選択、食事の嗜好など何をするにも本人の意思確認をしてから行うように心がけている。また、利用開始前の情報だけに頼らず、本人の表情や言動からも思いや意向を検討している。特に一对一の外出時などは利用者が思いを表しやすいため、会話に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や知人との関係の中でもまだまだ知ることが多い。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できる事出来ない事好きなこと好きでない事もわかりそれぞれに合った過ごし方ができるようになった。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	他からの意見の聞き取り反映にはまだまだ努力が必要である。	本人・家族の思いや意見を聴取し医師・看護師を交えたサービス担当者会議を開催して個々に応じた介護計画を作成している。楽しみのある生活として買い物や外出、家族との外泊支援や友人知人との時間、これまでの趣味の継続なども取り入れて個性のある現状に即した介護計画が作成されている。退院後や必要に応じた見直しを随時行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有は日々の中で定着しつつあり記録へとつながりつつある。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度検討し可能な限り対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	知人等の面会や力を借りる等の場面も見られた。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の主治医を継続して受診し、相談助言が頂けるように関係づくりに努めている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームより受診同行しており、結果は随時家族に報告している。協力医療機関とは24時間緊急時などの連携が図られ、訪問看護ステーションとの契約により利用者の健康管理も密におこなわれている。入居時に主なる判断者と急変時の確認書も作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護との連携により心配事や困り事を相談しアドバイスなどもらい支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	利用者の状況を伝え、通院可能な段階での早期退院の願いをし、療養指導等を受けリロケーションダメージを最小限にとどめるよう働きかけている。(実例あり)		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	法人自体で方針が定まっており、それに向け必要時に段階に応じて説明し、実施に向けて取り組んでいる。	重度化・看取りにおけるホームの方針は家族にも分かりやすい内容の指針を作成して入居時に説明している。同時に同意書と終末期及び急変時における確認書も作成している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医・家族との話し合いのもと方向性に沿ってホームでできる最大限の支援に取り組む方針である。看護師を中心として勉強会も実施し、看取り支援に取り組む体制も整えている。また、本人の思いや希望は日常生活で出されたことばを記録している	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	研修等に参加したら日々の申し合わせで努力中。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>職場間の研修や訓練等を行い地域の協力体制もある。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。地域の方々の参加もあり、外での見守りなどの役割分担も話し合わせ、ホームの自動通報システムにも登録されている。スプリンクラーも設置されており、備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に振り返り気持ちの中で持っている。	利用者個々に応じて声かけなど配慮しながら対応している。日常の業務で気づいたら都度話し合い、必要に応じて勉強会も実施して職員の資質の向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択肢を示し強制することは無い。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の思いに気を使っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いたり、日常の中で出来る部分には取り組んでいただき、職員も一緒に行っている。	日常的に調理や下ごしらえ、後片付けなど出来ることは手伝ってもらっている。また、干し大根・味噌作り・ぼたもち・ギョーザ・たこ焼き作りなども利用者を中心として行い、ときには、庭やテラスでの食事やお茶、地域の方々とのバーベキュー会、さんま祭り、また、ホーム内でも喫茶店やラーメン屋など趣向を凝らして「食」を楽しめるように支援している。夏にソーメン流し、夕食持参でひまわり見学、弁当持参で運動会、花見などにも出かけている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	より細かな把握が必要な時には個人のノートを作り把握、確認共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夜に確実に支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	状況に応じて見極めをする。	日常の排せつ記録と必要に応じて個別の記録ノートを作成してこまめな様子観察を行い、改善や自立に向けた排せつを支援している。入居後に改善された利用者も多く、現在、半数以上が日中は布パンツで過ごしており、継続できるように職員のさりげないトイレ誘導が行われている。また、身体面・精神面に問題がない限り日中は全員トイレでの排せつを支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	確実に把握し個々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調等にもよるが、可能な限り考慮して行っている。	夏は毎日、冬は一日おきを基本としているが、個々の身体状況や希望に沿って柔軟に支援している。身体状況に応じて二人介助で対応したり、入浴拒否の利用者には声かけの工夫やタイミングで無理強いしない入浴支援を行っている。ゆず湯や入浴剤で季節を感じてもらったり足湯に出かけることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	環境調整をしっかりと本人のペースの支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	細かな作業等の把握はスタッフによりまだまだ努力、指導が必要。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力量に合わせてその日の気分も考慮して楽しみの生活になるよう努力中。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	室内で過ごさず、戸外へ出ることを申し合わせながら、日々努めている。1回/月の遠足等を実施している。	日常は近隣の散歩や買い物に出かけ、庭やテラスでのお茶や食事なども瀬回りに行っている。元気な利用者も多く、毎月外出レクを企画して、お弁当持参で季節の花見や運動会、夏のソーメン流しや夕涼み食事会、イルミネーション見学、曾木の滝、駅伝応援などいろいろな場所に出かけて楽しんでいる。また、個別支援で自宅の稲刈りに出かける利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	ほとんどの利用者が、家族管理となっている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ハガキのやり取りなど可能な限り実施している。（携帯電話所有：2名）		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	月毎に壁飾りを変えたり花や置物を変える等して、明るい雰囲気心掛けています。	季節ごとの利用者の作品を玄関先のショーケースに展示して来訪者の目を楽しませてくれている。木のぬくもりを感じることが出来る建物は中心に共有スペースを設け、台所もオープンで利用者も手伝いやすく、食事の準備の様子やにおいなど五感を刺激してくれる。食事のテーブルとテレビとソファの置かれたくつろぎのスペースに分かれて生活にメリハリができるように配置を工夫している。冬はこたつが2か所置かれてそれぞれお気に入りの場所で過ごしている。リビングからテラスに直接出入りができるため開放感がある。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	年間の中では状況に応じ居場所作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれに合わせた対応をしている。	持ちこみに制限はせずに使い慣れたものやこだわりのあるものが持ち込まれている。仏壇や位牌、家族の写真やお気に入りの小物、ジグソーパズルが趣味の利用者の居室には作品が飾られてそれぞれに居心地良く過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札や手すりの設置、椅子の配置また、トイレの案内表示等その都度検討し対応しながら、安全への配慮をしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない